

第45週の発生動向 (2012/11/5~2012/11/11)

1. 感染性胃腸炎については県全体で、患者報告数が前週に比べ増加しています。
2. RSウイルス感染症については東地方+青森市、上十三保健所管内で、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎については東地方+青森市、弘前、むつ保健所管内で、患者報告数が前週に比べ増加しています。

II 第45週五類感染症定点把握

青森県内の定点(医療機関)数については青森県感染症発生動向調査TOPページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点
小児科 +内科	(85)														-1				
(74) RSウイルス感染症	19	2.4	24	2.7	3	0.3	4	0.8	13	2.2	1	0.3	64	1.6	15			19	2.4
(75) 咽頭結膜熱	2	0.3					1	0.2	1	0.2			4	0.1	2			2	0.3
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	14	1.8	19	2.1	7	0.8	3	0.6	5	0.8	5	1.3	53	1.3	15			14	1.8
(77) 感染性胃腸炎	32	4.0	6	0.7	42	4.7	2	0.4	11	1.8	17	4.3	110	2.7	40			32	4.0
(78) 水痘	15	1.9	8	0.9	10	1.1	3	0.6	1	0.2			37	0.9	-6			15	1.9
(79) 手足口病	1	0.1			5	0.6	2	0.4	4	0.7	12	3.0	24	0.6	6			1	0.1
(80) 伝染性紅斑															-3				
(81) 突発性発疹	5	0.6	2	0.2	4	0.4	2	0.4	4	0.7	1	0.3	18	0.4	3			5	0.6
(82) 百日咳															0				
(83) ヘルパンギーナ			4	0.4									4	0.1	2				
(84) 流行性耳下腺炎	9	1.1	3	0.3	2	0.2					4	1.0	18	0.4	6			9	1.1
眼科	(86) 急性出血性結膜炎														0				
(87) 流行性角結膜炎	2	1.0					4	4.0					6	0.5	5			2	1.0
基幹	(92) クラミジア肺炎														0				
(93) 細菌性髄膜炎															0				
(95) マイコプラズマ肺炎			4	4.0	2	2.0					5	5.0	11	1.8	-16				
(96) 無菌性髄膜炎															0				

は警報、は注意報。「空欄」:患者発生無し。警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定。

III 全数把握疾患(掲載数は最新情報)

- (9) 結核(二類全数把握疾患):青森市1人、八戸1人、上十三1人(2012年計:347人)
- (34) つつが虫病(四類全数把握疾患):青森市1人(2012年計:11人)
- (62) クロイツフェルトヤコブ病(五類全数把握疾患):むつ1人(2012年計:1人)

IV 病原体検出情報

- ()内は、検査材料及び検体採取日、患者数です。
- ・上気道炎患者4名(咽頭ぬぐい液、8/28~9/12)・・・**コクサッキーウイルスA6型**:弘前(2)、**コクサッキーウイルスA4型**:弘前(1)、**コクサッキーウイルスB3型**:弘前(1)
 - ・下気道炎患者1名(鼻汁、9/18)・・・**パラインフルエンザウイルス3型**:弘前(1)
 - ・手足口病患者1名(咽頭ぬぐい液、9/24)・・・**ライノウイルス**:弘前(1)
 - ・ヘルパンギーナ患者1名(咽頭ぬぐい液、9/25)・・・**HHV7**:弘前(1)

感染症の窓

感染性胃腸炎 (五類定点把握疾患)

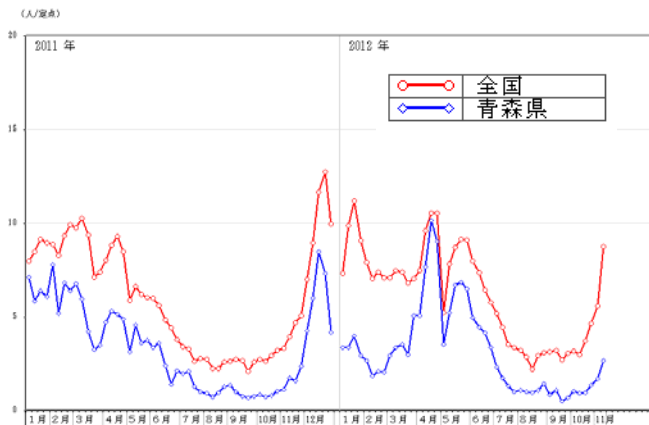


図 全国及び県内の定点当たり患者報告数の推移 (2011~2012年第45週)

感染性胃腸炎は多種多様な原因による症候群で、全国の患者報告数は、例年11月に急増し、12月中に流行のピークを迎えます。その大半はノロウイルスやロタウイルス等のウイルスが原因です。特に集団発生の原因の多くはノロウイルスです。

ノロウイルス感染症の潜伏期間は数時間~数日で、主な症状は嘔気・嘔吐及び下痢で、症状持続期間は数時間~数日と比較的短く、他の病気がある等の要因がなければ重症化は少なく、また発熱の頻度は高くありません。

感染経路は、食中毒の経口感染と、患者や無症状病原体保有者との接触による接触感染や、患者の嘔吐物や下痢便を介した飛沫感染等のヒト-ヒト感染があり、感染力は非常に強いです。

感染予防には、流水・石けんによる手洗いの励行と吐物や下痢便の適切な処理が重要です。(参考 IDWR2012年第43週)

2012年第43週では、全国の感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2週続けて増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多くなっています。県内でも患者報告数は増加しており、今後の発生動向に注意が必要です(図)。

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況（青森県）

（掲載内容は最新情報です）単位：人 2012年第26週～第44週

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
26	H24.6.25 ~ H24.7.1						腸管出血性大腸菌感染症1人
27	H24.7.2 ~ H24.7.8		つつが虫病2人				
28	H24.7.9 ~ H24.7.15	つつが虫病1人					
29	H24.7.16 ~ H24.7.22						
30	H24.7.23 ~ H24.7.29		急性脳炎1人		つつが虫病1人		
31	H24.7.30 ~ H24.8.5	ジアルジア症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人		レジオネラ症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人	
32	H24.8.6 ~ H24.8.12	腸管出血性大腸菌感染症1人				風しん1人	
33	H24.8.13 ~ H24.8.19	腸管出血性大腸菌感染症2人				腸管出血性大腸菌感染症1人	
34	H24.8.20 ~ H24.8.26	腸管出血性大腸菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人		腸管出血性大腸菌感染症5人		
35	H24.8.27 ~ H24.9.2	腸管出血性大腸菌感染症3人	腸管出血性大腸菌感染症2人		腸管出血性大腸菌感染症3人	腸管出血性大腸菌感染症1人	
36	H24.9.3 ~ H24.9.9			腸管出血性大腸菌感染症1人		腸管出血性大腸菌感染症1人	
37	H24.9.10 ~ H24.9.16		腸管出血性大腸菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人			アメーバ赤痢1人
38	H24.9.17 ~ H24.9.23		風しん1人			腸管出血性大腸菌感染症1人	
39	H24.9.24 ~ H24.9.30			腸管出血性大腸菌感染症1人 ウイルス性肝炎1人			
40	H24.10.1 ~ H24.10.7	腸管出血性大腸菌感染症2人		腸管出血性大腸菌感染症1人			
41	H24.10.8 ~ H24.10.14	腸管出血性大腸菌感染症21人 Dengue熱1人 レジオネラ症1人	梅毒1人	レジオネラ症1人 劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人			
42	H24.10.15 ~ H24.10.21	腸管出血性大腸菌感染症6人					
43	H24.10.22 ~ H24.10.28		梅毒1人	腸管出血性大腸菌感染症2人		腸管出血性大腸菌感染症1人	
44	H24.10.29 ~ H24.11.4						

VI 結核（二類全数把握疾患）

単位：人

2012年第26週～第44週

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
26	H24.6.25 ~ H24.7.1	2		1	1	1	
27	H24.7.2 ~ H24.7.8	1		2	2	2	
28	H24.7.9 ~ H24.7.15		3	7	2	1	
29	H24.7.16 ~ H24.7.22		1	3	2		
30	H24.7.23 ~ H24.7.29		2	2			
31	H24.7.30 ~ H24.8.5			2	1		
32	H24.8.6 ~ H24.8.12	2		3	3	1	
33	H24.8.13 ~ H24.8.19	1	2	3			
34	H24.8.20 ~ H24.8.26	4	2	1	1	1	
35	H24.8.27 ~ H24.9.2	1	3	1		1	
36	H24.9.3 ~ H24.9.9	2	2	2	1	1	
37	H24.9.10 ~ H24.9.16	5	3	1	1	2	
38	H24.9.17 ~ H24.9.23	5		3	1		
39	H24.9.24 ~ H24.9.30	3	1			1	
40	H24.10.1 ~ H24.10.7	2	1	5		1	
41	H24.10.8 ~ H24.10.14			2	1		
42	H24.10.15 ~ H24.10.21	2	3				
43	H24.10.22 ~ H24.10.28	1					
44	H24.10.29 ~ H24.11.4	1		1	1		

VII 全数把握疾患発生状況（全国-青森県）

（注：届出状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

2012年11月12日 17時15分集計速報値

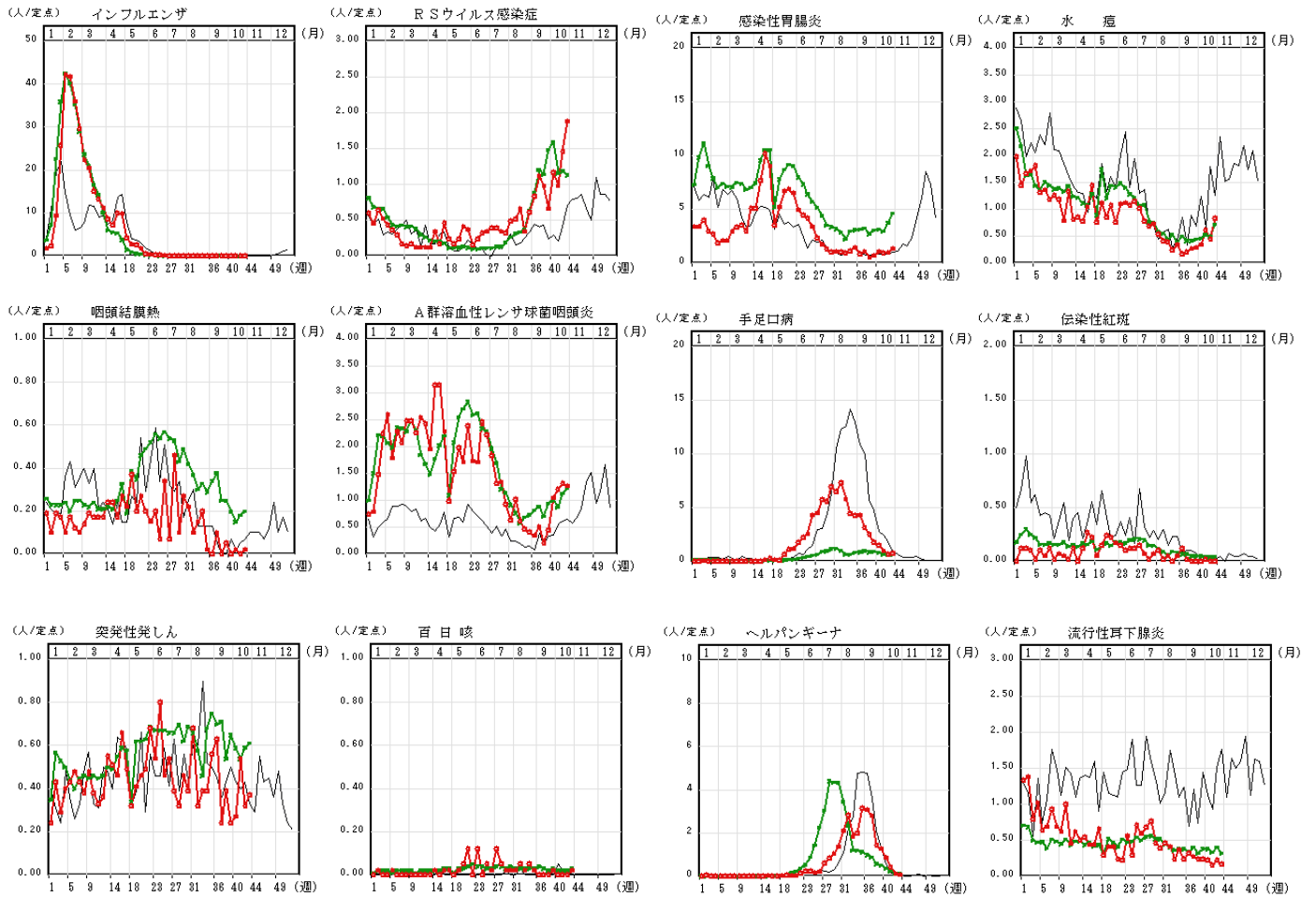
	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸子フス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	コクシジオides症	チクングニア熱	つつが虫病	Dengue熱	日本紅斑熱	日本脳炎	ポツリス症	マラリア	ライム病	レジオネラ症
全国	24606	3	189	3473	29	20	99	144	12	6	2	7	223	191	151	2	3	67	9	727
青森県	347	0	0	65	0	0	1	0	0	0	0	0	11	1	0	0	0	0	0	5

	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クラフトスボリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	髄膜炎菌性髄膜炎	先天性風疹症候群	梅毒	破傷風	ハンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	
全国	27	758	191	312	6	154	214	1195	62	12	1	741	97	80	1976	277	
青森県	0	3	1	3	0	1	2	3	1	0	0	5	0	1	2	0	

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移

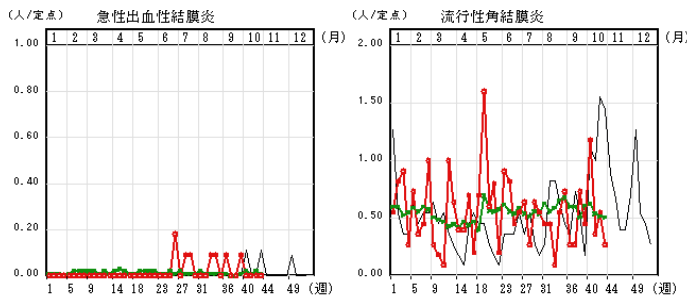
2012年第44週

グラフの説明 ○—○は2012年青森県、——は2011年青森県、×—×は2012年全国



Ⅸ 眼科定点把握疾患週別推移

2012年第44週



X 基幹定点把握疾患週別推移

2012年第44週

